





焼き板

活動名	焼き板			
概要 (セールスポイント)	自然素材を使い、手づくりのよさや作る喜びを感じてもらい、研修の思い出の作品となります。			
諸条件	場所	研修室の軒下など	対象	小学生以上
	所要時間	2～3時間	人数	10～50人
	時期	通年	天候	なし
活動の 教育的効果	(1) 板を自由に切り取り、絵を描くことにより、創造性を養うことができます。 (2) のこぎり、ガスバーナーなどの器具の取り扱いを学ぶことができます。 (3) 研修の思い出とします。			
準備する物	青少年交流の家で貸出し可能な物(個数)②		団体で準備する物	
	<input type="checkbox"/> のこぎり(40)※2種類 <input type="checkbox"/> たわし(30) <input type="checkbox"/> 火ばさみ(20) <input type="checkbox"/> きり(20) <input type="checkbox"/> ガスバーナー(20) <input type="checkbox"/> 紙やすり		<input type="checkbox"/> 絵の具・ポスカ <input type="checkbox"/> 筆 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> パレット <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 彫刻刀(必要があれば)	
活動内容 (手順)	所要時間	項目	内容	備考
	事前	安全指導	<input type="checkbox"/> のこぎり、彫刻刀などの刃物の取り扱い方法。 <input type="checkbox"/> ガスバーナーの取り扱い方法。	
	15分	準備(①)	<input type="checkbox"/> 食堂で板を受け取る。 <input type="checkbox"/> 事務室に道具を取りに来る。	
	90～ 120分	焼き板作成(①)	<input type="checkbox"/> 職員による焼き板作成の説明を受ける。 <input type="checkbox"/> 下書きをする。 <input type="checkbox"/> のこぎりですきな形に切る。 ※彫刻刀を使う場合は焼く前に彫る。 <input type="checkbox"/> ガスバーナーで焦げ目がつくまで焼く。 <input type="checkbox"/> 焼いた板をたわし、やすり、雑巾の順番でみがく。 <input type="checkbox"/> 色をつけるための下書きをする。 <input type="checkbox"/> ポスカなどで字や絵を描く。 (新聞を敷き、机にポスカが付かないようにする) <input type="checkbox"/> キリで穴を空けヒートンを固定し、ヒモを通す。	のこぎり・バーナー使用時は引率者が必要。
	15分	片付け	<input type="checkbox"/> 木くずやビニールなどのゴミを掃除する。 <input type="checkbox"/> パレット、筆を洗う。 <input type="checkbox"/> 貸出物品は事務室に返却する。	
	15分	発表	<input type="checkbox"/> 作成した焼き板をクラス等で発表する。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 怪我(板のとげが刺さる、のこぎり・キリ・彫刻刀での裂傷) <input type="checkbox"/> やけど(ガスバーナー、焼いた板) <input type="checkbox"/> ガス中毒(ガスバーナーのガスを吸い込む)			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> かまどの火で板を焼く事もできます(ガスバーナーを使用しない)。 ※この場合、薪代(1束400円)がかかります。			

※①、②は資料番号を示す

焼き板の作成

<p>1</p> 	<p>2</p> 	<p>3</p> 
<p>食堂窓口で板とヒートン、ひもを受け取ります。食堂職員に声をかけてください。</p>	<p>必要な道具を事務室まで取りに来てください。</p>	<p>形を決めるために下書きをします。(無理に形を変える必要はありません)</p>
<p>4</p> 	<p>5</p> 	<p>6</p> 
<p>のこぎりで好きな形に切ります(糸のこぎりは丸く切ることもできます)。</p>	<p>バーナーで焦げ目が付くまで、全面を焼きます(やけど・ガス中毒に注意!)</p>	<p>焼き上がった板を、たわし→紙やすり→ぞうきの順番でみがきます。</p>
<p>7</p> 	<p>8</p> 	<p>9</p> 
<p>パスカなどで絵を描くために下書きをします(下書きをしなくても良い)。</p>	<p>文字や絵を自由に描きます(絵の具が机に付かないよう新聞紙をします)。</p>	<p>絵の具が乾いたらキリで穴を空け、ヒートンを固定し、ひもを通して完成です。</p>

※かまどで火をおこし、板を焼く事もできます(ガスバーナーを使用しない方法)。

焼き板の準備物品・片付け

1. 準備物	
●交流の家で用意している物	●団体が準備してもらう物
<input type="checkbox"/> 板、ひも <input type="checkbox"/> のこぎり(2種類) <input type="checkbox"/> 火ばさみ <input type="checkbox"/> たわし <input type="checkbox"/> 紙やすり <input type="checkbox"/> きり <input type="checkbox"/> ガスバーナー	<input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 絵の具・ポスカ <input type="checkbox"/> 筆、パレット <input type="checkbox"/> 彫刻刀(必要であれば)

2. 片付けの流れ

- ① 片付けについては木くずやススなどをほうきで掃き、ゴミも捨ててください。
- ② 貸出した物品は事務室に戻してください。
- ③ 絵の具のついたパレットはトイレ裏の水道で洗うことができます(旧研修棟です)。

3. 料金について

- ① 材料費として250円(1人)がかかります(食費と合わせてお支払いできます)。
- ② 指導料は無料です。※職員が作り方を説明します。

※実施場所については事前に職員と打ち合わせをして決定します。

